



どんな動物がいたかな？(5 年生) センサーカメラをもとに～



「どんな動物が映っているかな？」と子どもたちが興味津々で覗き込んでいたのは、林間学校の時に子どもたちがセットした「センサーカメラ」です。センサーカメラは、動物などの調査に使われるもので、主によく動物がやってくる場所を選び、木の幹などに設置します。今回のものは、子どもたちが林間学校の際、エコパ伊奈が湖の周辺にセットしたもので、そのカメラに動物が映っているということで、

エコパのスタッフの方が持ってきてくれました。センサーカメラには、キツネ・ハクビシン・テンなどの動物が映っていて、動物が動く度に子どもたちから歓声があがっていました。

今回の学習で、人間と動物の共生について、改めて知ることができましたし、地域の自然を大切にする気持ちも高めることができました。エコパ伊奈が湖のみなさん、ありがとうございました。



予告なし避難訓練

9 月 3 日(木)、中休みの時間を使って避難訓練を実施しました。今回は、子どもたちに予告なしで行う地震を想定した避難訓練です。いつでも教室で授業中、担任がいるときだけ地震が来るとは限りません。今回は、子どもたちが自分で判断し行動できるか、確かめる訓練でした。そのため、実施時間は休み時間に設定し、子どもたちが校庭や教室、図書館、体育館などそれぞれの場所で休み時間を過ごしているときに設定しました。

「訓練、訓練、ただ今大きな地震が発生しました。児童の皆さんは安全な場所に移動し、頭を守る姿勢をとってください。」

と放送が入ると、校庭にいた子どもたちは、誰に言われるでもなく自分たちで校庭の真ん中に丸くなっていました。同じように体育館で遊んでいた子どもたちも、体育館の真ん中で丸くなって集まりました。

「揺れが収まりました。児童のみなさんは、気を付けて校庭に避難しましょう。」

と放送が入ると、それぞれ黙って校庭に移動してきました。もちろん、教師がついて移動してくるグループもありましたが、教師がいなくても校庭に自分たちで避難することができました。

職員が、それぞれの分担場所を確認して外に出る頃には、校庭で全員が整列しているところでした。2 次避難の放送を流してから 3 分 44 秒で全員が避難できたということで、初めての予告なし訓練としては上出来だったと思います。

最近では地震だけでなく、先日の大雨などの災害もあちこちで起きています。地震や大雨などの自然災害は、どこでも起きること、そして本当に起きてしまったときに、どう行動するか、いつも考えておくように話しました。ご家庭でも災害時にどう行動するか、一緒に話し合ってみてください。

